

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2016 No.39

inaokigakuen news letter



2016年も笑顔があふれる学園に!

巻頭
新年メッセージ

特集
CDPで今年も超えました!

星稜教職員バトンメッセージ
星稜アレコレ

Amitié Seiryô ~星稜の友~
『親業』支援コラム「オトナのミカタ」
総合研究所・地域連携センターだより
星稜 Information

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中!
詳しくはP14をご覧ください

星稜サ・エ・ラ No.39 2016年1月18日発行

編集 発行/学校法人 稲置学園 石川県金沢市御所町丑10番地1 Tel.076-253-3908 http://www.seiryo.jp/
編集責任者/高村久司(広報課長)
編集担当者/池端紀子、石川みどり、大野勝敏、小倉朋也、鹿渡三千代、高島悠、谷口美香、原田奈穂、村上勝、山口加苗

VEGETABLE OIL INK
本誌は植物性インキを使用し、環境にやさしい紙を採用しています。

行事スケジュール (1月~3月)

金沢星稜大学

1	23日(土)	補講日
	26日(火)	後期授業終了
	27日(水)~2月2日(火)	後期末一斉試験期間
	30日(土)	英語成果テスト
2	4日(木)・5日(金)	一般入試日(校内立入禁止)
	9日(火)	専門ゼミナールIプレゼンテーション大会(経済学部) 卒業研究発表会(人文学部)
	10日(水)	基礎ゼミナールIII・IV発表会(経済学部)
	15日(月)・16日(火)	追試験期間
	25日(木)・26日(金)	再試験期間
3	3日(木)	卒業認定発表
	18日(金)	学位記授与式
	22日(火)・23日(水)	人間科学部研修(現2年次対象)
	26日(土)	保護者懇談会(本学)

金沢星稜大学女子短期大学部

1	23日(土)	補講日
	26日(火)	後期授業終了
	27日(水)~2月2日(火)	後期末一斉試験期間
	4日(木)・5日(金)	一般入試日(校内立入禁止)
2	10日(水)	ゼミナール発表会
	25日(木)・26日(金)	追試・再試験期間
	3日(木)	卒業認定発表
3	17日(木)	学位記授与式
	26日(土)	保護者懇談会(本学)

星稜高等学校

1	18日(月)	大学入試センター試験自己採点
	28日(木)	3年最終登校日
	29日(金)	一次入試
2	4日(木)	一次入試合格発表
	11日(祝)	推薦・専願合格者説明会
	17日(水)~19日(金)	2年Pコーススノーボード実習
	29日(月)	同窓会入会式、卒業式予行
3	1日(火)	卒業式、1,2年自宅学習
	2日(水)~5日(土)	学年末試験
	16日(水)	新2年教科書販売
	17日(木)	新3年教科書販売
	19日(土)	終業式
	20日(日祝)	一次入試合格者説明会
	21日(月休)	二次入試
	22日(火)	二次入試合格発表 二次入試合格者説明会
	31日(木)	再受験予定者説明会

星稜中学校

1	20日(水)	入学試験合格発表
	6日(土)	総合学習発表会
	18日(木)	スキー教室(一里野)
2	21日(日)	入学説明会
	1日(火)	自宅学習
3	2日(水)~4日(金)	学年末試験
	10日(木)	卒業式予行
	11日(金)	卒業式
	19日(土)	終業式

あとがき

2016年、今年は申年。「サル」の語とえば「見ざる聞かざる言わざる」とかく人間は自分にとって都合の悪いことや相手の欠点を見たり聞いたり言ったりしがちだが、それらにはない方がよいということ。人の良いところを認め、自分も成長できるような年にしたいですね。サエラを読まれる皆様がたくさん幸せを感じられる年になりますように。

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園 谷口 美香

Since 1932
星稜 学校法人 稲置学園
誠実にして社会に役立つ人間の育成

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部
石川県金沢市御所町丑10番地1
Tel.076-253-3924 (代表)
(大学) http://www.seiryô-u.ac.jp/u/
(短大部) http://www.seiryô-u.ac.jp/c/

星稜高等学校・星稜中学校
石川県金沢市小坂町南206番地
Tel.076-252-2237 (代表)
http://www.seiryô-hs.jp

金沢星稜大学附属星稜幼稚園
石川県金沢市御所町丑27番地
Tel.076-252-5057 (代表)
http://kinder.seiryô.jp/seiryô/

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園
石川県金沢市泉野町6丁目17番30号
Tel.076-244-5636 (代表)
http://kinder.seiryô.jp/izumino/

〈星稜サ・エ・ラ〉 サ・エ・ラ (ça et là) とはフランス語で「ここそこ」「あちこち」。幼稚園から大学まで色々な場面にスポットを当てるとの意味で、「どこでも星稜教育が息づいている」という表しです。



新年メッセージ

新しい年を迎え、いつも改めて心に想い起こすことは学園の建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」であり、これは私の座右の銘でもあります。

日本の教育をとりまく環境は、少子化、グローバル化、価値観の多様化、学ぶ意欲や規範意識の低下、いじめや体罰など、大きな諸課題に直面しています。教育の使命の一つは、学生生徒・園児が夢と希望を抱き、豊かな人生を実現する力を育むために、その多様な個性・能力を最大限に引き出す「豊かな学びと成長」を保障することにあります。

政府においては、「未来に向かう教育再生」として日本の教育の価値を高めるべく、小・中高の英語教育の充実に加え、「思考力」「判断力」「表現力」向上への様々な改革を行い、併せて高大接続や大学入試のあり方など大学改革を進めていくことを提言しています。

金沢星稜大学では、4月に「人文学部国際文化学科」を開設し、「未来に向かう教育再生」に謳われている日本人としてのアイデンティティと国際的な視点をもつ幅広い教養力を備えたグローバル人材養成への新たな挑戦が始まる年となります。金沢星稜大学女子短期大学部では、特別キャリア開発群（キャリア・ディベロップメント・プログラム）を正規科目とするカリキュラム改革により、キャリア支援がさらに充実・拡大し、着実に成果が出てきております。星稜中学校・星稜高等学校・星稜幼稚園・星稜泉野幼稚園においても、教育再生への実質的な改革を推し進めることとしております。これらの改革が将来への種まきとなり実を結ぶこととなるように道筋をつけていく所存です。

「星稜」の存在意義は、建学の精神を拠りどころとして、いつの時代においても「教育の本質」をしっかり見据えながら、今なすべきことを的確に捉え、初等・中等・高等教育機関としての役割と責任を果たすことにあります。このためには、歴史と伝統に積み重ねられた「星稜ブランド」をさらに高め、力強く成長・発展し続けなければなりません。

教職員一人ひとりのためめ努力により創り上げられた「星稜ブランド」は、まさに「教育の力」であり、また、厳しい時代を勝ち抜くための競争力の源泉となっております。皆様には、これからもその自覚と誇りをもっていただくとともに、さらなる教育改革の実現に向けて、機を逃さないダイナミックな施策、現実的な選択と決断、これらを果敢に実践し、この厳しい変革の時代を乗り越えていってほしいと願っております。

学校法人稲置学園理事長 稲置 美弥子

CDP（キャリア・ディベロップメント・プログラム）、開設以来最高の合格者数を記録。

CDP開設から10年が経った今年度は、過去最高の合格者数を記録しました。まず、公務員試験では昨年度の合格者数がのべ数28名（実数15名）だったところ、今年度はのべ数83名（実数38名）と大幅アップしました。その中には、労働基準監督官や皇宮護衛官に内定という本学初の快挙を成し遂げた学生もいます。また、保育士（公務員枠）は受験した5名全員が合格し、2年連続の100%を達成。短期大学部の公務員試験合格者数も、のべ数10名（実数6名）となりました。それから、教員試験では現役合格者数がのべ数27名（実数20名）にも上り、既卒者と合わせるとのべ数が30名の大台を突破しました。そして、税理士試験では、簿記論と財務諸表論の合格者数とも2名ずつ（実数3名）となり、すべてのコースで昨年度を大きく超える実績となりました。

この要因は、大きく3つ考えられます。1つ目は、CDP管理体制の強化です。各CDPコースの担当講師陣と連携しながら、職員全員の協力体制を確立してまいりました。例年以上に、ひとりひとりの学生と綿密にコミュニケーションをとって活動状況を詳細に記録し、個々の状況にあわせて適切なアドバイスを行うなど、先手先手の環境作りをしたことが、今回の結果につながったのだと考えています。

2つ目の要因は、学生自身の意識の高さにあります。例えば、公務員コースを受講していた4年次の学生たちは、1・2年次の段階で講座への出席率が90%を越えており、早い段階から真面目に取り組む姿勢が伺えました。各CDPコースともに、1年次から積み上げてきた知識だけでなく、目標に向かって努力する意志の強さで、合格を掴むことができたのだと考えています。

そして3つ目は、学生同士のつながりです。

合格者体験談イベントを定期的に開催してきたことで、上級生が自らの経験を後輩に伝える良い循環が生まれています。そのため、早い段階でやりたい職業のイメージを持つことができたのも縦のつながりによるものと言えるでしょう。また、同学年の横のつながりもしっかりとあり、自習室やロビーで一緒に勉強する姿が多く見られました。得意、不得意を共有してお互いに教えあうことで全体の成績が底上げされ、「みんなで合格しよう」という思いが相乗効果を生み、良い結果を残すことができたのだと思います。

今年度の成功要因として3つ挙げましたが、CDPを受講中の学生はもちろん、自分を超越する力を身につけた方は、特に2つ目を大事にしてみてください。私たち職員は、これからも少しずつ改善・向上を試みながら、学生の皆さんを最後までサポートしていきたいと思っています。

エクステンションセンター



石川県庁合格



市村 栄里加さん
経済学部 経営学科
金沢大学附属高等学校卒

正直に言うと、受験活動が終わるまでの間にさまざまな縁があったり、受験先それぞれの職務にもやりがいを感じ、合格後は少し進路に悩みました。石川県庁に決めた理由は、幅広い分野で職務経験を積みたいという気持ちが大きかったからです。また、県庁でのインターンシップがきっかけで、観光分野に興味を持ったというのも理由のひとつです。どの部署へ配属になっても、自分の生まれ育った石川県がより良い県になるようにがんばっていききたいと思います。

金沢市役所合格



川下 悠美さん
経済学部 経済学科
輪島高等学校卒

高校生の時に、漠然と人の役に立つ仕事がしたいと考えていました。金沢星稜大学に入学する際にCDP公務員講座の存在を知り、そこから公務員のさまざまな職種を調べて、いちばん興味を持った市役所に勤めたいと思いました。大学進学とともに移り住んだ金沢という土地が好きになり、金沢の街並みに惹かれて金沢市役所を志望したので、街づくりに関する業務に携わりたいという気持ちでいます。何ごとにも誠実な態度と丁寧な仕事ができる公務員になれるよう努力します。

石川県公立小学校教員合格



辻原 美紗貴さん
人間科学部 子ども学科
星稜高等学校卒

小学生の頃から、「先生」に憧れていました。大学に入学し、小学校へのボランティアや塾講師のアルバイトでたくさんの子ともたちと関わっていき中で、「先生になりたい」という気持ちが強くなっていきました。子どもたちのがんばっている様子はもちろん、「わかった!」できた!」とうれしそうな表情を浮かべるのを見て、もっと子どもたちのこんな姿を見たいと思いました。これから、どんな子どもたちと出会い、どんな日々が過ごせるのかがとても楽しみです。

石川県公立小学校教員合格



金曾 健太郎さん
人間科学部 子ども学科
鹿西高等学校卒

石川県と千葉県から合格をいただきましたが、生まれ育った石川県に貢献したい、石川県で育つ子どもの成長に携わりたいという想いがあり、石川県に残ることを決めました。加えて、今までお世話になった先生方に、私が石川県で教員として働いている姿を見せることが何よりの恩返しだと考えたのも、理由のひとつです。これからは、子どもたちとさまざまなことに挑戦していきたいと思っています。その経験から得られる多くの感情を大切にしながら、子どもたちと共に成長できる教師としてがんばっていききたいと思います。

国家公務員一般職(会計検査院)合格



矢本 理紗さん
経済学部 経済学科
金沢二水高等学校卒

昔から、地元を離れ県外に出て働きたいという想いを持っていました。不安な気持ちはもちろんありますが、その場所ですべてできない仕事に就けることに大きな喜びを感じています。国税専門官と悩みながらも会計検査院を選んだのは、国税専門官の方が行った仕事におけるミスまでも検査することができ(租税検査)と知ったからです。また、東京労働局からも内々定をいただきましたが、会計検査院での仕事は東京でしかできないということが決め手になりました。

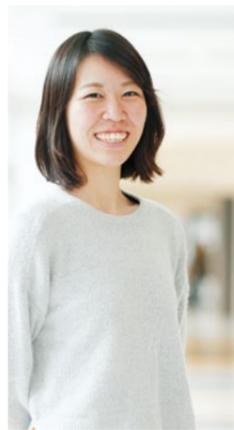
裁判所事務官一般職合格



安田 大伍さん
経済学部 経済学科
小松市立高等学校卒

合格するためには、限界を自分で決めないことが重要です。私は中学生の頃、成績があまり良くなかったのですが、半ば勉強に関しては諦めていました。しかし、高校でもう一度がんばってみたいところ、成績がアップ。「やればできるんだ」と気づくことができました。それからは「自分ができる」と自信を持って大学でも勉強に励み、無事裁判所職員にも合格することができました。これからは、ひとりひとりと対話を重視し、紛争の中にいる人を裁判所という立場からサポートしていききたいと思います。

石川県公立小学校教員合格



堂村 加奈子さん
人間科学部 子ども学科
金沢桜丘高等学校卒

「教師として、子どもと関わっていききたい」。大学に入ってから、子どもと関わる楽しさや教師という仕事のやりがいについて学んでいく中で、自然とそう思うようになりました。私が目指しているのは、子どもと気持ち共有できる教師。うれしい時や楽しい時はもちろん、子どもたちが不安や悩みを抱えている時も側に寄り添ってあげられる教師になりたいです。子どもが一番の味方であることを忘れずに、一緒に成長していききたいと思います。

千葉県公立小学校教員合格



下田 佳代さん
人間科学部 子ども学科
南砺福野高等学校卒

小学校教員をしている母が、教え子から送られてくる年賀状やクラス写真をうれしそうに見つめる姿を見て、この仕事に興味を持ちました。子ども学科に進学してからは、小学校ボランティアで子どもたちと触れ合う日々。子どもの成長と一緒に喜べることや「先生、先生!」と近寄ってきてくれるのがうれしくて、気持ちが固まりました。毎日が勝負となる授業では、子どもたちが自ら「知りたい!」と興味をわくような展開ができるよう教材研究に力を入れていきます。

労働基準監督官合格



西浦 奈実さん
経済学部 経済学科
小松明峰高等学校卒

労働基準監督官を目指すようになった理由は、母からその職業の話聞き、どんな仕事をしているのか興味を持ったからです。その想いをさらに強めたのは、社会政策論の授業でした。毎年、自分と近い年齢の人たちが過酷な職務によるストレスのために、自ら命を絶っているという現状を知り、大きなショックを受けました。誰もが健康で安心して働ける社会を目指し、労働基準法などの法律をきちんと遵守させることで、人が人らしく働けるような社会にするために努めたいです。

国税専門官合格



荒井 美帆さん
経済学部 経営学科
星稜高等学校卒

合格した時、ほっとした気持ちでいっぱいでした。CDPを辞めずに受講し続けて本当に良かったと思いました。今までの人生で初めて第一志望に受かったので、本当にうれしかったです。大学生活を通じて、何事においても努力する人の方が結果を残すことができるのだと学びました。これから入学する高校生の皆さんは、大学でいろんなことに挑戦してみてください!公務員試験を控えた皆さんは、自分を信じて努力してください!途中で諦めたらきつと後悔します!

税務職員合格



永井 優美さん
女子短期大学部 経営実務科
小松高等学校卒

元々、公務員になりたいという目標はありましたが、税務という仕事のおもしろさを知り、税務職員を第一志望にしました。それは、説明会で女性職員の方のお話を聞いたことで、税務という仕事をより身近に感じられたからです。他の行政職に比べて税務の仕事はアクティブなので、自分に合っていると思いました。また、内定先の中で一番女性がイキイキと働いているように感じ、この先もずっと公務員として働きたい私にとって最適な仕事だと思っています。

金沢市公立保育士合格



高柳 泉さん
人間科学部 子ども学科
金沢二水高等学校卒

小さい頃から自分より年下の子の相手をするのが好きで、保育士という仕事を意識していましたが、本格的に目指しはじめたのは大学に入ってからです。2年次に出身保育園で体験学習を行い、その後もアルバイトで関わり続けた3年間、子どもたちの3年間の成長をこの目で見るのができ、保育士になりたい気持ちがさらに強くなりました。子どもたちには時に癒され、時に悩まされながら、日々その成長に驚かされる。このような一喜一憂が、保育士のやりがいだと思っています。



「心の根」を 育てる3年間。 園児の成長に 寄り添う保育を。

金沢星稜大学附属星稜幼稚園
岡本 志津佳 教諭

「遊びは学び」を実践している 星稜幼稚園に共感し志望

私は金沢星稜大学人間科学部こども学科の卒業生で、新卒として星稜幼稚園に勤めており、現在3年目を迎えています。もともと子どもと触れ合う仕事がしたくてこども学科に進み、「フィールド演習」と呼ばれる幼稚園・保育園などでの実地演習を通して、小さい子とかかわれる幼稚園がいいと思いました。さまざまな保育の現場を見ただ中でも、星稜幼稚園の子どもたちは遊びの中でしっかりといろいろなことを学んでおり、「遊びは学び」を実践できている、ここで働きたいと感じ、志望しました。



園児が自分で考え、行動できるようになれる指導を心がけています

幼稚園の3年間は、目には見えないけれど、園児の「心の根っこ」を育て、とても大切な時期です。たった3年ですが、その年月で驚くほどの成長を見せてくれます。今年、去年と、年少組の担任をしています。年少さんはほとんどの子にとって親元を離れての初めての集団生活です。個人差はありますが、やはり戸惑う子どもも少なくありません。そんなときも、その子の気持ちに寄り添って、無理強いするのではなく、園児が自発的に行動するときこそと手助けできるような保育を心がけています。

ほんの数年でたくましく。 子どもの成長した姿に感動

保護者の皆様との関わり合いも大切です。できるだけ皆様とお話しすることで、園児たちの理解も深まります。子どもたちの体調や気分の変化も見逃さないよう、毎朝、そして帰るとき、必ず顔を見て挨拶するようにしています。そうすればちょっとした変化も気づきやすくなります。

また、よりよい保育を実現するため、当園では今年からおもちゃをより充実させました。ままごと食材は保護者の方々に制作していただくなど、皆様にご協力いただくことも少なくなく、そのご期待に応える保育を心がけています。



年少さんにとっては、ほぼ初めての集団生活。不安を少しでも取り除けるようフォローしています

過去最大規模の 流星祭！

10月30日(金)～11月1日(日)の日程で、大学短期大学部合同の大学祭である「流星祭」が行われました。第14回となる今年の流星祭のテーマは「PUZZLE」！
お笑いライブや初の試みとなった2組のアーティストライブ、トークショーなど著名人が来場する中、学生たちがさまざまなピースをつなげて、流星祭という一つのパズルを完成させました。



自分の身を守るための 防犯セミナー開催！

9月29日(火)、北陸総合警備保障株式会社(ALSOCK)の北野洋平氏と長濱翔子氏をお招きし「防犯セミナー」(女性を対象とした犯罪から自分を守るためにできること)をテーマに講演いただきました。この講演会は、株式会社レオパレス21

留学生ボウリング大会 開催！

12月18日(金)に、毎年恒例の留学生ボウリング大会が金沢市内で開催されました。留学生と日本人学生、教職員合わせて約30名が参加し、皆



にご協力いただき実現しました。受講した学生たちは熱心に耳を傾け、犯罪に巻き込まれないための心構えや護身術を学びました。

障がい学生支援チーム 全国大会で新人賞受賞！

12月19日(土)・20日(日)、福岡県で年に一度の「日本聴覚障害学生高等教育支援シンポジウム」が行われました。日本全国から「聴覚に障がいのある学生」を教育支援する大学や学生が集まる研修会です。「実践事例コンテスト」という、各大学の支援体制や取り組みを発表する大会も研修の中で行われ、全出場15校から本学が新人賞を受賞しました。研修を通じて、今後の本学における課題が明白となった実りある研修会になりました。



で談笑しながらゲームを行い、交流を深めました。

国際大会出場おめでとう！

【陸上競技部】
第8回アジア太平洋
ろうあ者競技会 陸上競技の部
○男子1500m 優勝
森光 佑矢(人間科学部2年次)
○男子800m 6位入賞
沖田 耐芽(人間科学部3年次)

出場者の声

1500mに出場し、優勝することができました。初の国際大会ということもあって緊張しましたが、自分のレースプラン通りに走ることが今回の結果につながったと思います。来年は、世界選手権があるのでそれに向けて頑張っていきたいと思っています。

森光 佑矢(写真右)

初めての国際大会ということもあり、大会に出る前は海外のレベルについて行けるのか、言語についてなど不安なことがありました。しかし、日本チームの皆が互いに支え合うことで自信を持って試合に挑むことが出来ました。皆様応援ありがとうございました。

沖田 耐芽(写真左)



ウィンタースポーツ スキー&スノーボード実習

1月4日(月)・5日(火)の日程で「SeiTanAct」スノーボード実習が長野県榑池高原スキー場で行われ、21名の学生が冬のスポーツを満喫しました。ゲレンデは雪不足で、コンディションは100%というわけではありませんでしたが、スノーボードとスキーの2チームに別れ、初心者も経験者も実りある2日間を過ごしました。

※SeiTanActとは、さまざまな経験を通して人間の成長を目指す取り組みで、短大生限定の課外活動です。



高 大学を体感!

10月20日(火)、進路研究の一環として、1年生が大学を見学、2年生が大学講師による模擬講義を受けました。1年生は、各クラス石川県・富山県内より選んだ2校の大学を訪問し、大学の紹介や説明を受け、施設を見学しました。2年生は、県内外の大学から本校にお招きした先生による模擬講義を受講しました。大学における研究活動や修学環境を知ること、進学に対する意欲と関心を高め、将来の大学生活を思い描きました。



高 世界に挑戦!

トランポリン部の中野蘭菜さん(3年)がワールドカップに出場し、9月のスペイン大会で、個人18位、女子シンクロで10位、10月のフランス大会で14位(日本人最上位)、ポルトガル大会で12位(日本人最上位)の成績を収めました。11月26日(木)29日(日)までデンマーク・オーデンセで行われた第31回世界トランポリン競技選手権大会にも出場し、女子日本人最上位の14位でした。しかし、目標としていた入賞とリオデ



ジャネイロ五輪の代表にわずかに届かず、来年4月のテスト大会(リオデジャネイロ)での五輪代表権獲得を期待します。
また、12月3日(木)6日(日)に同じく、デンマーク・オーデンセで行われた第24回世界年齢別トランポリン競技選手権大会で、山田大翔さん(2年)は個人男子17・18歳の部で予選3位からの逆転優勝、シンクロ男子17・18歳の部では、星稜高校OBで日体大クラブの藤原壮輝さんと組んで銅メダルを獲得しました。
全日本選手権で、前回覇者の先輩中野蘭菜さんを僅差で上回って優勝した杉谷櫻花さん(1年)は、個人女子で銅メダルを獲得し、シンクロでは12位でした。

高 全国大会出場決定!

サッカー部が第94回全国高等学校サッカー選手権石川県大会で堂々の17連覇を成し遂げ、26度目の全国大会出場の切符を手に入れました。また、川崎晃さん(1年)が平成27年度石川県高等学校新人体育大会体操競技で準優勝し、第32回全国高等学校体操競技選抜大会に出場が決まりました。さらに、レスリング部が平成27年度全国高等学校選抜レスリング北信越大会学校対抗戦で優勝。個人対抗戦96kg級で高山真平さん(2年)、60kg級で貞亮真さん(2年)、50kg級で中村晟悠さん(1年)がそれぞれ優勝し、3月27日に新潟市で行われる全国大会に団体個人で出場します。
文化部では、将棋部の河内瑠美さん(1年)下記写真左が第24回全国高等学校文化連盟将棋新人大会石川県大会で準優勝し全国大会に駒を進めました。また、金沢市で開催された第31回北信越高等学校囲碁選手権大会で座主遥香さん(2年)が女子個人戦で4位に入賞し、3月19日に大阪で行われる全国大会に出場します。
試合の日程と開催場所は次のとおりです。
[サッカー部]
12月30日(水)開会式
駒沢陸上競技場(東京都世田谷区)
1月2日(土)2回戦(初戦)
NACK5スタジアム大宮(埼玉県さいたま市)
1月3日(日)3回戦
浦和駒場スタジアム(埼玉県さいたま市)



1月5日(火)準々決勝
駒沢陸上競技場(東京都世田谷区)
1月9日(土)準決勝
埼玉スタジアム2002(埼玉県さいたま市)
[体操部]
3月21日(月)金沢市総合体育館
[レスリング部]
3月27日(日)新潟市体育館
[将棋部]
1月28日(木)
阿蘇の司ビラパークホテル(熊本県阿蘇市黒川)
[囲碁部]
3月19日(土)
大阪商業大学(大阪府東大阪市)

高 星稜 historical tour

10月11日(日)、13回目となる今年度は「日本の建築遺産・産業遺産をめぐる旅」と題し、愛知県の犬山市を旅しました。町を見下ろす犬山城は、国宝指定の名城で、参加した生徒は天守閣からの素晴らしい眺望に歓声をあげていました。また明治村では、様々な技術を諸外国に学びつつ独自に発展した日本建築の推移を堪能しました。全員で乗った蒸気機関車は、良い思い出の一つとなりました。



高 全国高校駅伝出場!

12月20日(日)、京都市内において、女子第27回全国高等学校駅伝競走大会が開催されました。
5年連続9回目の出場を果たした女子陸上競技部は、エース区間の第1区で五島莉乃さん(3年)が転倒というアクシデントに見舞われながらも、懸命にタスキをつなぎ、1時間14分09秒で52位という結果でゴールしました。2年生以下が3人残る若いチームで、最終5区で好走した戸部千晶さん(2年)を中心に来年度は、星稜高校がもつ石川県の最高順位14位、最高タイム(ともに平成26年の記録)更新を目指します。



中 大盛り上がり運動会

10月14日(水)、爽やかな秋晴れのもと、第43回星稜中学校運動会を行いました。今年、保護者の方も参

加しての〇×クイズや、デカパンリレーといった新しい種目も加わり、大いに盛り上がりました。結果は、綱引きや団対抗リレーを制した青団の優勝となりました。また、これまでの団ごとの応援合戦にかわり、学年ごとにダンスを披露しました。



中 思い出に残る修学旅行

10月20日(火)10月22日(木)、2年生が関西方面へ2泊3日の修学旅行へ行きました。1日目は、京都市内を班別行動し、夜は祇園花月でお笑い『よるよる新喜劇』を観劇。2日目は、大阪で海遊館とUSJでアトラクションを楽しみました。最終日は、奈良の薬師寺で法話を聴き、東大寺で大仏と京都宇治平等院鳳凰堂を拝観しま

した。日本の歴史と伝統に触れ、また友達との楽しい時間があったという間に過ぎてしまった修学旅行でした。



中 貴重な体験学習!

10月21日(水)22日(木)、13年生が穴水町(金沢星稜大学「地域連携交流センター」かぶと)旧兜小学校で1泊2日の農業・漁業体験をしました。白菜畑でのナメタジ防止、さ



つまいもの出荷準備、ブドウ畑の肥料散布除草を体験し、作物を育てる苦労を実感しました。防波堤や沖フロードでの釣り、牡蠣棚・ボラ待ち槽を見学し、金沢星稜大学の学生の地域連携活動のミニ講義を受け、地域交流についても学びました。



中 学校見学会

11月14日(土)、学校見学会が開催されました。学校紹介や入試などの説明、校舎施設の見学、および部活動の体験



中 宮村英語奨励賞受賞!

9月19日(土)、第31回宮村英語奨励賞の受賞者が発表され、三島康士朗さん(3年)が受賞しました。宮村英語奨励賞は、毎年金沢市教育委員会が、英語教育の振興と金沢の次代を担う人材の育成を目的として、英語の成績が優秀な中学生を表彰しているもので、2次選考は英語による面接が実施されます。10月17日(土)に金沢市文化ホールで、山野之義金沢市長より英語の賞状とトロフィーが授与されました。なお、三島さんは高田宮村中学校英語弁論大会石川県大会にも出場しました。



中高 9月からの主な部活動成績

星稜高等学校

JOCジュニアオリンピックカップ
第9回日本ユース陸上競技選手権大会

- ・女子200m
- ・第5位 柳谷 朋美
- ・女子走幅跳
- ・第22位 吉岡 美玲

第70回国民体育大会レスリング競技
・少年男子フリースタイル66kg級

- ・第5位 貞 亮真
- ・第2位 小山 麗

平成27年度石川県高等学校総合体育大会
第79回石川県男子駅伝競走選手権大会

- ・男子団体
- ・第2位
- （第9回北信越高等学校駅伝競走大会）
- （第10回石川県高等学校駅伝競走大会北信越予選 出場決定）
- 吉田 侑平、新矢 連士
- 梅谷 寛大、中川 善揮
- 田中 大輝

第20回北信越高等学校新人陸上競技大会

- ・女子100m
- ・第3位 柳谷 朋美
- ・女子200m
- ・優勝（全国高等学校選抜選手権大会出場）
- 柳谷 朋美
- ・女子5000m競歩
- ・第3位 清水 有咲

平成27年度石川県高等学校新人体育大会
□空手道競技

- ・女子団体形
- ・第3位 北信越大会出場決定

- ・女子団体組手
- ・第3位 北信越大会出場決定
- ・1年女子個人形
- ・第2位 北信越大会出場決定
- ・2年女子個人形
- ・第2位 北信越大会出場決定
- ・女子個人組手
- ・第3位 北信越大会出場決定
- ・女子個人形
- ・第3位 北信越大会出場決定

- ・女子個人組手
- ・第3位 北信越大会出場決定
- ・女子個人形
- ・第3位 北信越大会出場決定

□バレーボール競技
・女子

- ・第3位 北信越大会出場決定
- ・女子個人形
- ・第3位 北信越大会出場決定

□剣道競技
・女子団体

- ・第3位 北信越大会出場決定
- ・女子個人形
- ・第3位 北信越大会出場決定

□弓道競技
・女子個人形

- ・第3位 北信越大会出場決定
- ・女子個人形
- ・第3位 北信越大会出場決定

□ソフトボール競技
・男子の部

- ・第2位
- 宮野 冬馬
- ・男子の部
- ・第2位

□バスケットボール競技
・男子

- ・第4位 北信越予選出場決定

- ・男子5000m
- ・優勝 吉田 侑平
- ・男子110mH
- ・第2位 吉藤 直希
- ・男子3000mSC
- ・優勝 中川 善揮
- ・男子トラック
- ・優勝
- ・男子総合
- ・第2位
- ・女子2000m
- ・優勝

- ・男子5000m
- ・優勝 吉田 侑平
- ・男子110mH
- ・第2位 吉藤 直希
- ・男子3000mSC
- ・優勝 中川 善揮
- ・男子トラック
- ・優勝
- ・男子総合
- ・第2位
- ・女子2000m
- ・優勝

全日本合唱コンクール中部支部大会
・高等学校Aの部

- ・銅賞
- 平成27年度
石川県高校放送コンテスト新人大会
- ・朗読部門
- ・優秀賞
- （第12回北信越高等学校選抜放送大会出場決定）
- ・アナウンス部門
- ・優良賞
- （第12回北信越高等学校選抜放送大会出場決定）
- 村上さやか

全日本合唱コンクール中部支部大会
・高等学校Aの部

- ・銅賞
- 平成27年度
石川県高校放送コンテスト新人大会
- ・朗読部門
- ・優秀賞
- （第12回北信越高等学校選抜放送大会出場決定）
- ・アナウンス部門
- ・優良賞
- （第12回北信越高等学校選抜放送大会出場決定）
- 村上さやか

全日本合唱コンクール中部支部大会
・高等学校Aの部

- ・銅賞
- 平成27年度
石川県高校放送コンテスト新人大会
- ・朗読部門
- ・優秀賞
- （第12回北信越高等学校選抜放送大会出場決定）
- ・アナウンス部門
- ・優良賞
- （第12回北信越高等学校選抜放送大会出場決定）
- 村上さやか

全日本合唱コンクール中部支部大会
・高等学校Aの部

- ・銅賞
- 平成27年度
石川県高校放送コンテスト新人大会
- ・朗読部門
- ・優秀賞
- （第12回北信越高等学校選抜放送大会出場決定）
- ・アナウンス部門
- ・優良賞
- （第12回北信越高等学校選抜放送大会出場決定）
- 村上さやか

全日本合唱コンクール中部支部大会
・高等学校Aの部

- ・銅賞
- 平成27年度
石川県高校放送コンテスト新人大会
- ・朗読部門
- ・優秀賞
- （第12回北信越高等学校選抜放送大会出場決定）
- ・アナウンス部門
- ・優良賞
- （第12回北信越高等学校選抜放送大会出場決定）
- 村上さやか

第38回石川県学生写真コンクール
・準特選 北國写真連盟賞
「未来」 鈴木 綾乃



佳作
「山里の春」 辻屋 明花



入選
「春光や菜の花踊る風の中」
宮崎 七海（文芸部）

入選
「春日傘冷えた河川にうつる影」
河村 尚紀（文芸部）

星稜中学校

第52回全日本トランポリン競技選手権大会
・シンクロナイズド競技 女子

- ・第19位 野村菜月美、徳永 唯花
- （スポーツクラブフエン・フォーティ）組

第43回西日本トランポリン競技選手権大会
・中学生男子

- ・第4位 中野 晴大
- ・中学生女子
- ・第3位 野村奈月美

第18回関東・北信越少年新人軟式野球大会
・優勝

石川県中学校駅伝大会
・女子団体

- ・第8位 高山 聖葉、和田 奈々
- 藤家 麻鈴、高村 悠
- 荒木 瑞帆
- ・女子第1区
- ・第3位 高山 聖葉
- ・女子第2区
- ・第4位 和田 奈々
- ・女子第5区
- ・第5位 荒木 瑞帆

幼稚園

☆お芋掘り☆

つき組とほし組（年長組）が芋掘り体験をしました。土の中から出てくるいろいろな形のサツマイモに歓声をあげながら大事そうに掘っていました。持ち帰ったツルはリースに、サツマイモは焼き芋にしました。



☆親子オリエンテーリング☆

好天に恵まれ、たくさんの親子が参加し、ハロウィンルームやバッグ作り、大学までの散歩コースのウォーキングなどを楽しみました。



庭では、ゴールをねらってボールを蹴ったり、サツマイモスティックを食べたりと家族で和やかな時間を過ごしました。段ボール迷路とミニチュアの鼓門は、父親による「おとこ星の会」の方々が制作してくれました。



☆大会出場！がんばりました☆

星稜U-6FCが10月4日（日）に「第3回テレビ金沢キッズサッカー大会」、11月14日（土）に「稲置学園理事長杯」に出場し、ナイスポレックの熱戦を繰り広げ、家族や友達からたくさん声援が送られました。惜しくも優勝を逃した理事長杯の後には「次こそは！」とリベンジを誓う姿をみせていました。



幼稚園

☆星稜サッカーU-6理事長杯☆

11月14日（土）、星稜泉野幼稚園と星稜幼稚園が取り組むサッカークラブの交流試合が行われました。黄色と緑のユニフォームで戦う姿は未来の星稜高校のサッカー選手を思わせるようでした。こどもたちはもちろん、保護者も教師もどんどんヒートアップして応援にも熱が入りました。

第1回理事長杯は、星稜泉野幼稚園の「ひびきチーム」が優勝を勝ち取りました。星稜幼稚園の「イエローチーム」「グリーンチーム」、星稜泉野幼稚園の「かがやきチーム」「ひびきチーム」それぞれが頑張り、楽しむことができました。金メダルや銀メダルを理事長先生からかけてもらい、とても嬉しそうなお子様たちでした。



☆表現あそびの会☆

こどもたちの大好きな絵本や自分たちで選んだ絵本を劇遊びに発展させ、それを様々な形で表現したものを保護者の方に見ていただきます。活動のねらいは発達を踏まえて学年によって違いますが、何よりも大切にしていることは、劇あそびに発展させていくまでの「過程」です。

リハール、表現あそびの会の当日...こどもたちの嬉しそうな笑顔はにかむ姿、緊張している姿などにお父さん、お母さんや、見に来てくださったおばあちゃん、おじいちゃんもにこにこ微笑んでいました。両日とも、とても寒い日でしたが、こどもたちの笑顔に、心もほっこりあたまった2日間でした。



北國銀行で活躍する「星稜」の卒業生

金沢東部エリア
 杜の里支店 支店長代理
 西村 亜紀
 (星稜女子短期大学(現・金沢星稜大学女子短期大学部)第15期卒)



女性の視点で、温かく明るい 雰囲気作りを目指しています。

平成7年に星稜女子短期大学(現・金沢星稜大学女子短期大学部)を卒業後約20年経ち、現在は金沢市の杜の里支店に勤務しています。支店長をはじめ行員、全員が女性の支店です。近隣に大学が多く学生や留学生の方なども多く来店されます。銀行という堅いイメージがありますが、当支店では女性のきめ細かなおもてなし、また行ってみたいと思っただけのような温かく明るい雰囲気作りを目指しています。入行した当時に比べると「女性が活躍で

きる環境」が大きく整備されています。私自身二人の子供を持つ母親です。家庭と仕事の両立ができるのだろうか?と不安に思った時期もありましたが、家族や会社、社会も子育てを応援してくれています。北國銀行の女性行員は生き生きと活躍しています。なぜなら働きやすさと働きがいがあるからです。生産性を高めた結果、早く退行できる体制になっています。また時差勤務もあり家族との困らん、知識や教養、趣味、地域の行事に参加することもできます。そして「人間力」の高い行員として豊かな人間性を求められています。

学生の皆様におかれましては、在学中に出会った仲間をぜひ大切にしてくださいと思います。私自身社会人になってからも学生時代からの友人が真の友人として心の支えになり、今でも良き相談相手です。人との出会いに感謝し、夢を持っているいろいろな事にチャレンジしてほしいと思います。

最後に勉学とスポーツの両立で頑張って活躍する皆様に卒業生の一人として誇らしく思い、いつも勇気と感動をもらっています。私の周りにも励みになっている人が大勢います。本当に素晴らしいことです。これからも貴重な学生生活を有意義に過ごしてください。

一緒に守りたい、今日があります。 とともに創りたい、未来があります。

ふるさとを、明日につないでいく。
 地域のみなさまと、未来をひらいていく。
 ふるさとに暮らす人々が、
 今日、明日も笑顔で過ごすことができるように。
 北國銀行は、これまでもこれからも
 地域とともに歩む銀行であり続けます。



本ページは、北國銀行様と本学園との包括的連携協力に係る協定書に基づき、作成しております。

『親業』支援コラム

オトナのカタミ

インターネット社会に 生きる子供たち ～スマホを持つ前から育てたい資質能力～



金沢市教育委員会学校指導課
 『ネットいじめ防止講演会』講師
 金沢市教育委員会生涯学習課
 『かなざわ親塾』講師
 村井万寿夫(金沢星稜大学人間科学部教授)

ネット接続機器の変化

一〇一一年のこのコラムで「携帯電話の付き合い方」というテーマでお話しましたが、その後の五年間でインターネット社会は急進しました。その結果、インターネットに接続できる機器に大きな変化がありました。

携帯電話(通称ガラケー)からスマートフォン(通称スマホ)に移行し、操作性は格段に上がりました。また、ガラケーやスマホだけでなく、音楽プレーヤー(ポッドタッチ)や各種ゲーム機でも簡単にインターネットに接続できるようになりました。

このように子供たちの身の回りにもいろいろのツールでネット接続できるようになったことは、大きな変化です。

アプリの変化

スマホの普及に伴い、いろいろなアプリ(アプリケーション)が登場し、簡単にインターネットからダウンロードして使えるようになりました。代表的なアプリには、LINE(ライン)、Twitter(ツイッター)、Facebook(フェイスブック)、YouTube(ユーチューブ)などがあります。子供たちに人気のアプリはラインやユーチューブです。

これらのアプリは人と人が繋がることを目的

としていて、SNS(エスエヌエス、ソーシャルネットワークサービス)とされています。

スマホのメリット

ネット接続機器とアプリの変化についてお話ししましたが、これらによって人と人が簡単にしかも瞬時に繋がり合うことができるようになりました。

SNSの代表としてのラインは、二〇一一年三月の東日本大震災がきっかけでLINE株式会社が作ったアプリです。

小学生でも簡単に操作ができます。これは大きなメリットです。いつでも、どこにいても、あつという間に連絡を取り合うことができます。文字だけでなく、スタンプ(表情豊かなキャラクターのイラスト)で情報を伝えたり、その場で撮影した写真も簡単に送ったりすることができます。

便利なスマホのデメリット

小さな子供にも使いやすいことはLINE株式会社制作当初から意図していたことで、緊急時や災害時に活用できます。しかし、使いやすいというところは情報発信も容易にできるという点で、LINEに光(メリット)と影(デメリット)があると言えます。

ラインは限定少数の仲間だけでやり取りします

が、そのために仲間外れやケンカなどのトラブルにさらされ、いじめなどにエスカレートすることがあります。

また、ツイッターやフェイスブック、ユーチューブなどは不特定多数の人が情報を受け取ります。このことをほとんど、あるいは、全く意識しないで気軽に情報発信し、トラブルになってしまうケースが多く発生しています。

大人から見ると気になる情報発信をしてしまった子供たちは「たかさんの人が見ているとは知らなかった」「友達だけが見ていると思っていた」と言っています。さらに、中高校生は「友達に自慢したかった」と言っていて、この意識は小学生にも見られるようになってきました。

親として大人として心配なこと

デメリットでお話したことは、子供たちの自己本位による意識や行動ということができません。簡単にネットに繋がること(インターネット)で簡単に情報発信できることが、子供たちの意識や行動を変えていると考えられます。

このように考えると、気になる情報発信したときに対処するだけでは不十分であり、極めて心配です。なぜなら、情報発信した子供にはそのつもりがなくても、情報を受け取った子供は心が傷ついたり悩んだり、時には自分の命を絶つてしまうことがあるからです。このような

ことから対処法だけでは親として大人として極めて心配です。

小さな頃から育てたい資質能力

私が小学校を訪問して親子対象の、または、保護者対象の講演会で強調してお話していることは、次のことです。

- ・スマホを持つてからでは遅い。
 - ・持つ前から意識して育てないといけないことがある。
 - ・それは、約束や規則を守れる子、人のいやがることをしない子、自分の気持ちを抑えられる子。
 - ・この三つは就学前の子育てにも当てはまる。
- ネットやスマホの付き合い方を教えることはもちろん大事なことです。けれど、それにも増して大事なことは、お子さんが周りの子供たちと好ましい関わり方ができる資質能力を、幼少の頃から意識して育てていくことである、私は考えています。



地域に貢献する『星稜のまちづくり』の実現に向けて

— Seiry Street 事業 — ※2015年度から実施した事業です。

星稜の学生・生徒・園児・教職員と地域の方々が、通勤・通学などで活用する区間で、地域に密着した様々なイベントなどを協同して、計画・実施し『星稜のまちづくり』の実現を目指します。

2015年度に実施した活動

「Seiry 美化活動」～金腐川清掃～

実施日：8月5日(水)



「地域防災訓練」

実施日：9月19日(土)

場所：大学・短大部校舎と駐車場

内容：防災講習会、応急処置体験、地震体験車、煙体験ハウス、初期消火訓練、炊き出しなど



「Seiry 美化活動」～金沢星稜大学周辺の清掃～

実施日：10月30日(金)



「Seiry イルミネーション企画」

点灯期間：2015年10月31日(土)～2016年2月中旬 ※毎年点灯予定

設置場所：大学・短大部校舎正面玄関中央にあるケヤキの木



今後の新たな活動

地域の賑わい活動

- ・「地域活性化サポートプロジェクト in 東金沢駅」と題して、東金沢駅周辺の賑わいづくりへの参加
四季に応じた地域の風景画や写真、星稜の活動情報を発信
- ・シンボルツリーのイルミネーションを中心に、星稜の建物などにイルミネーションを段階的に設置

イベント企画

- ・Seiry Street 区間を利用し、「地域の文化」「星稜の文化」「星稜のスポーツ」をキーワードとして、地域と星稜が一体となり、相互交流ができる企画の検討

美化活動

- ・東長江インター付近の草刈り
国土交通省を中心として組織した東長江ICサポートクラブ(夕日寺校下町会連合会と御所町会)に参加
- ・Seiry Street 区間の清掃
東金沢駅周辺～金沢星稜大学新校舎「Global Commons」

稲置学園星稜基金 スポーツ・文化等課外活動支援の給付者

2015年8月11日～12月18日までの給付者

個人・団体	所属	申請区分	団体名・氏名
個人	大学	スポーツ	森光 佑矢
個人	大学	スポーツ	沖田 耐芽
団体	大学	スポーツ	剣道部女子

星稜サ・エ・ラに関するアンケートへのご協力をお願い

いつも『星稜サ・エ・ラ』をご愛読頂き、誠にありがとうございます。
毎号の内容に関する皆様からのご意見を「Webアンケートフォーム」を通じて頂戴し、本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方、抽選で100名様にQUOカード(500円分)をプレゼントいたします。右記QRコードから、アンケートへの回答をお願いいたします。



抽選で100名様に
QUOカードをプレゼント!

総合研究所・ 地域連携センター だより

地域貢献

金沢マラソン 学生がボランティアで活躍!

11月15日(日)に開催された『第1回金沢マラソン2015』に、本学から学生ボランティア約300名が参加しました。約12,000名のランナーが金沢の街を駆け抜ける中、競技審判、ステーション応援、救護、障がいランナー支援、給水係、荷物係など、さまざまな活動において活躍しました。
参加した学生たちは、地域を挙げての大きなイベントに参加できた喜びと、チームをまとめ成功に導いた体験を通じて、前向きな気持ちと大きな自信を得ることができました。
これからも、金沢星稜大学は地域貢献活動に協力していきます。



地域連携

「Matching HUB Kanazawa 2015 Autumn」に参加しました。

企業、大学、行政、金融機関の連携活動を通して新しい産業を創出し、北陸地域の活性化を目指すための産学官金マッチングイベント「Matching HUB Kanazawa 2015 Autumn」が11月16日(月)・17日(火)に金沢市内のホテルで開催され、2日間で延べ1,350名を超える関係者学生が参加しました。大学と企業が産学連携で課題解決に取り組むテクニカルセッション、シンポジウムや企業、大学等によるパネル・ポスター展示などが行われ、本学は、「北陸地域の活性化を目指した新産業創出と人材育成」をテーマにしたテクニカルセッションと、企業、諸団体と連携した取組みを紹介したパネル・ポスターを出展しました。
テクニカルセッションでは、高崎経済大学の太田教授(地域政策学部)から、当該セッションのテーマである「地域創生をめざす産学連携」と題して、「地域創生の背景、制度設計、展開から地域連携活動の先進的な取組みなどについて」講演いただきました。
本学の小坂修副学長と奥村実樹准教授(経済学部)から「地域連携は一日にしてならず」、佐々木達也講師(人間科学部)と株式会社ツエーゲンの由井昌秋取締役から「地域を元気にするスポーツ・マネジメント」と題して、地域連携、人材育成、まちづくりについて「報告いただきました」。
最後に、このセッションで出された意見等を踏まえ、太田教授から今後の産学連携推進に向けた提案がなされました。
これまでの取組みと課題を踏まえ、大学教育のあり方、産業界との連携方法について、有益な意見が交わされたセッションとなりました。

